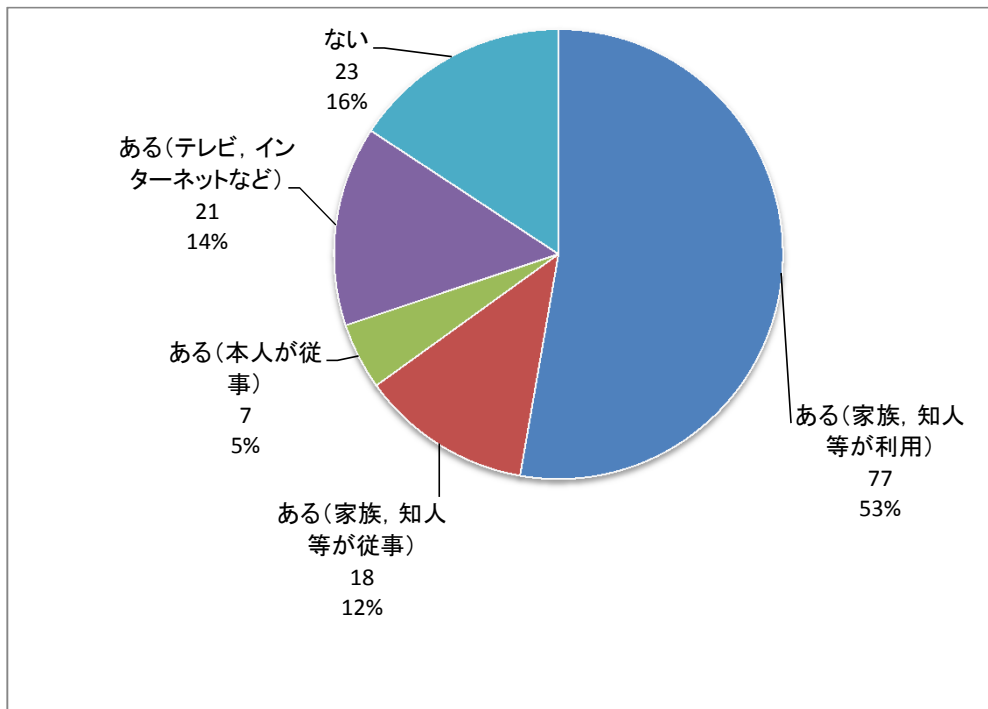


平成29年度 第1回 県政モニターアンケート調査結果

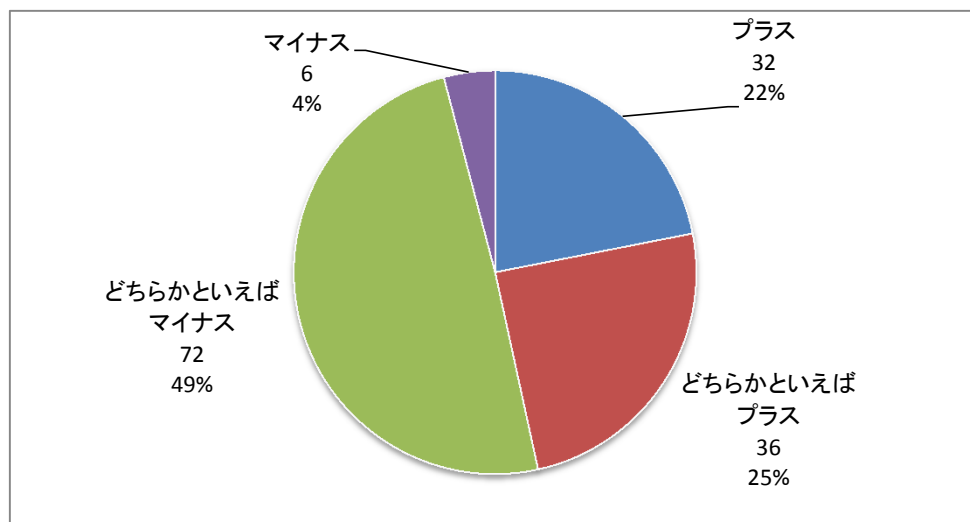
介護福祉課 介護企画係
(Tel:099-286-2696)

- テーマ 「介護の仕事に対する県民の意識調査」について
- 調査目的 介護事情は技術の進歩等により大きく変わってきているが、どの程度認識しているかの実状を把握し、今後の取組の参考とするため。
- 実施月 平成29年5月
- 調査対象者数 200人
- 回答者数 146人(73%)

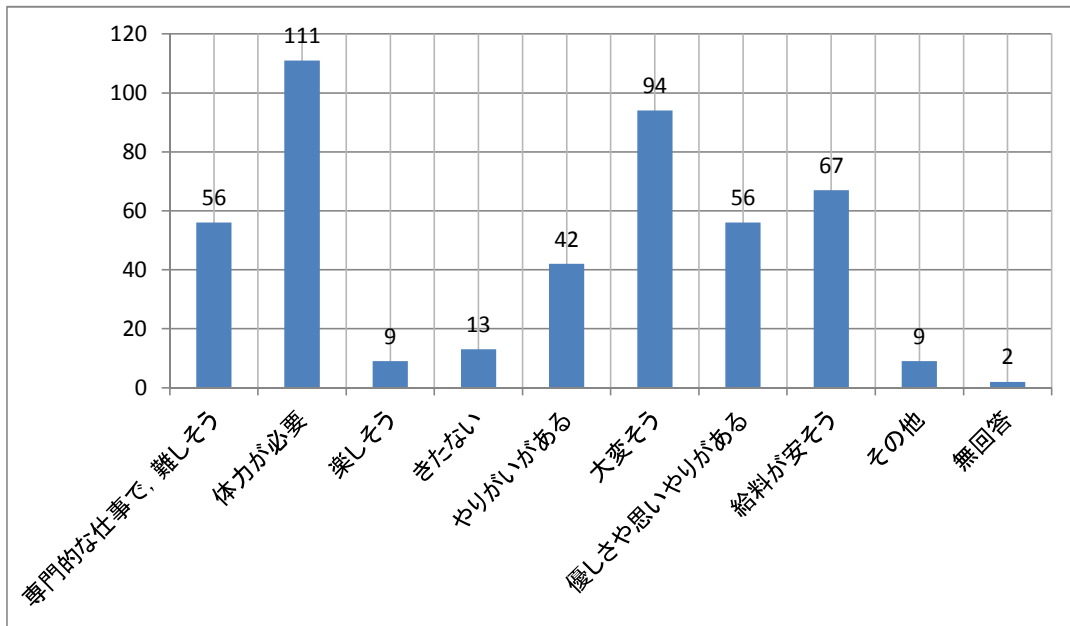
問1 あなたは、最近の介護施設の様子や介護の仕事を知る機会がありますか。



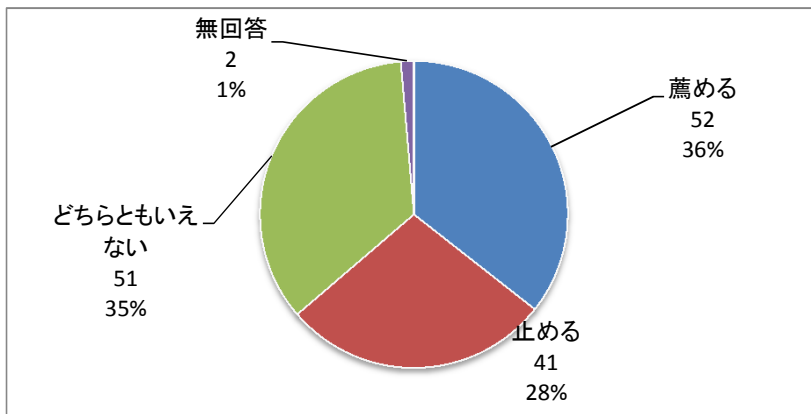
問2 介護の仕事に対して、全体としてプラスのイメージを持っていますか、それとも、マイナスのイメージを持っていますか。



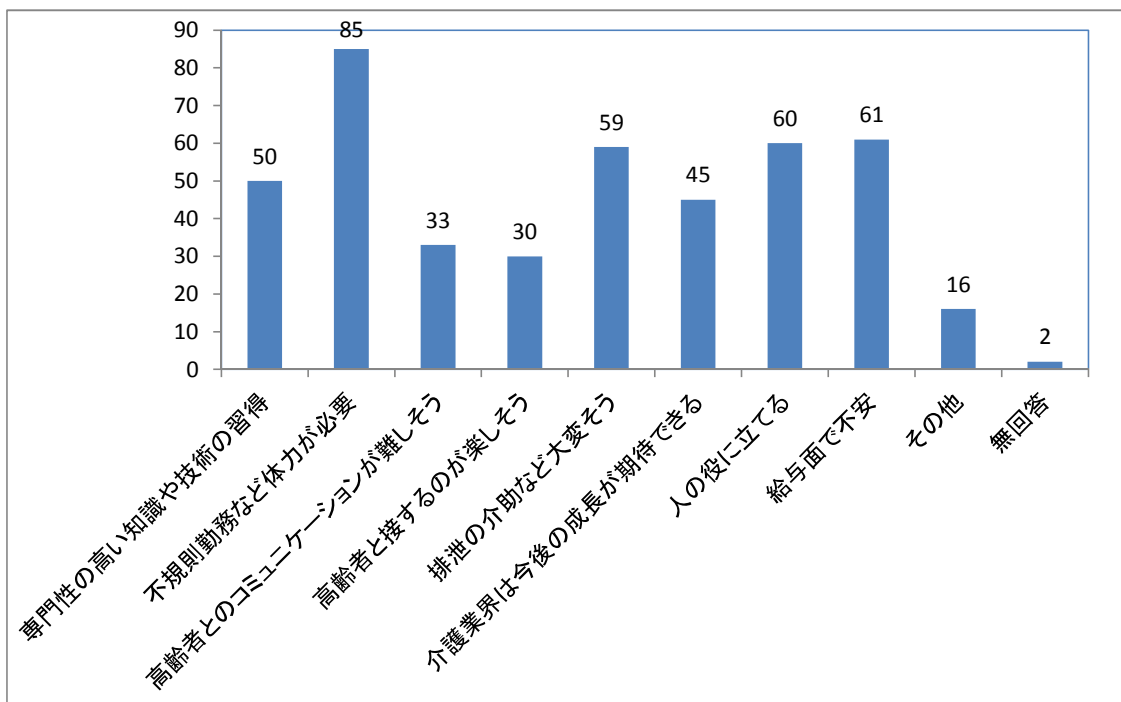
問3 (問2の答えに対して)それはなぜですか。(複数回答可)



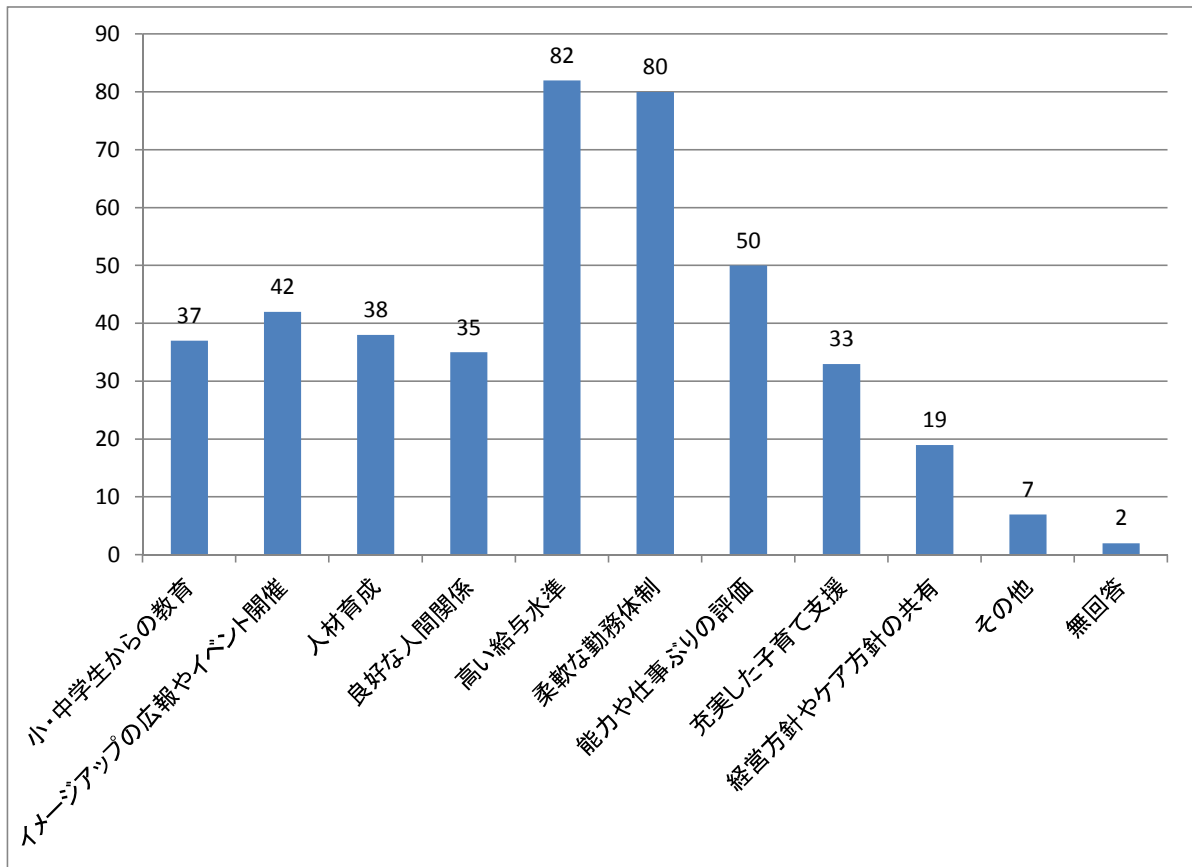
問4 仮にご家族が介護職に就きたいと希望された場合、介護職を薦めますか、それとも、止めますか。



問5 (問4の答えに対して)それはなぜですか。(複数回答可)



問6 介護職員を増やす、定着させる(辞めない)ためには、どのような施策がより効果的だと思いますか。次の選択肢から3つまで選んでください。



問7 介護職の魅力在世の中に広めるために有効だと考える取組について、御意見・御感想をお聞かせください。

- ・ 介護職を主人公にしたドラマや映画などを作成・放送することにより、介護職の知名度をアップする。
- ・ 小中学生の頃から施設訪問、ボランティア体験のみならず、職場研修や地域の方々との交流などを通じて、高齢者との触れあいや介護職について知る機会を増やす。
- ・ 新聞や広報誌で特集を組み、現場で働く介護職や介護を受ける側の声を伝えることにより魅力を発信する。
- ・ 柔軟な勤務体制や高い給与水準などの労働条件の改善、経営者を含めた職員の質の向上を図る。
- ・ 要介護の人を、もっと地域の中に住ませ、いっぱいの人の手と目を活用する。
- ・ 実際に見聞きした介護職の良さを口コミで伝える。
- ・ 介護施設はすべて国が運営する。受益者の負担増。介護職員の所得税、各種保険料の免除。